

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 【研究内容に関する照会先】

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院中央診療棟 27 階  
糖尿病・生活習慣病予防講座 電話：03-3815-5411（内線：34347）  
担当者の所属・氏名

東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座 岡田啓

### 【研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒104-6591 東京都中央区 明石町 8-1 聖路加タワー 3・4・5 階  
聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 電話：03-5550-2400  
担当者の所属・氏名 聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 内科  
木村武志

### 【研究責任者】

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕

### 【研究代表者】

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕

### 【研究分担者】

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村武志

# 健診を受診された方を対象とした

## 非アルコール性脂肪性肝疾患に関する研究

### 1.研究の対象

2008年1月1日から2018年12月31日までに、聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センターの健診を受診された方。

### 2.研究の目的・方法

非アルコール性脂肪性肝疾患（non-alcoholic fatty liver disease：NAFLD）は、肝臓に脂肪が沈着する病気で、肝硬変や肝癌の原因や、心血管疾患の関連として重要です。NAFLDは近年注目されていますが、身体へのリスクの少ない採血などの検査でどの程度予測出来るかについて、明らかになっていないことも多いです。そこで、本研究では、身体計測と採血データからNAFLDをどれくらい予測出来るか、を明らかにすることを目的としています。これによって、今後の効率的な健診の実施の一助になったり、病気の早期発見が進んだりすることが期待されます。なお、この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、既往歴、身体計測値、血液検査所見、腹部超音波検査所見 等

### 4.外部への試料・情報の提供

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センターの健診データのうち、研究対象となるデータを聖路加国際大学情報システムセンターの実務者が抽出し、東京大学大学院生物統計学分野のデータ解析室に保存されたデータを用います。このデータ解析室はインターネット回線から隔絶された、施錠可能な専用のデータ解析室です。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。データは研究終了後10年間DVD-Rにて保存し、その後物理的に破壊します。

### 5.研究組織

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕  
同研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座 岡田啓  
聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村武志